

第1 平成19年度当初予算の概要

1 予算編成の基本方針および予算規模

平成19年度当初予算は、歳入面では、景気の回復基調に伴い、県税収入が平成13年以来6年ぶりに1千億円を上回ることが見込まれるものの、起債残高の増加が続くなど、引き続き財政の健全性維持に向けた取組みが重要であることから、平成18年3月に策定した「行財政改革実行プラン」に基づき、投資的経費や人件費の抑制、事務事業の見直しの徹底等により、一層の予算の重点化・効率化に努めました。

また、平成19年度当初予算は、年度当初に知事・県議会議員選挙を控えたいわゆる骨格予算であり、全く新たな政策に関する事業や内容を大幅に見直す事業については選挙後の補正予算で対応することとし、原則として継続事業中心の編成となりましたが、北陸新幹線や高規格道路整備、福井豪雨災害対策など切れ目なく推進する必要がある事業や県民生活を支える基本的な事業はほぼ計上しており、さらに、医師確保対策や少人数学級の推進、また、障害者の自立支援や放課後の学童保育など福祉・教育の分野で国の制度改革を受けたものなどで県民生活に密接に関わり4月から速やかに実施する必要がある事業については、新規や政策的な事業であっても計上しております。

こうして編成した平成19年度当初予算額は

一般会計	4,438億4,276万円
特別会計	1,057億9,640万円
企業会計	321億2,586万円
計	5,817億6,502万円

となっており、一般会計について前年度当初予算額と比較すると、9.5%の減となっております。

億円

(図表-1) 当初予算（一般会計）の推移

